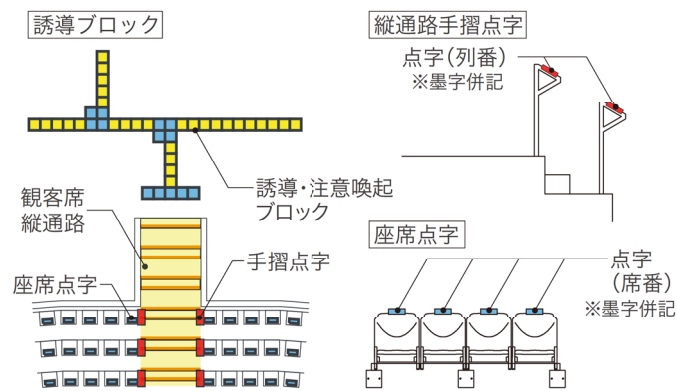


3 視覚障がい者への配慮 誘導設備の徹底した配置によりアクセス性を向上します

1 視覚障がい者誘導設備の適切な配置によるアクセスサポート

- 下記案内設備を計画し、視覚障がい者が円滑に施設を利用できるよう整備します。
 - 誘導ブロック(設置範囲は要協議)
 - 「外構 → 主要な出入口 → 案内所 → コンコース(1階コンコース一周) → 観客席の縦通路上段」に設置
 - 音声誘導装置 (エレベーター・エスカレーター・トイレ入口前に設置)
 - 案内所インターホン(1階外部計3か所設置)
 - 触知板※墨字併記(トイレの入口の見やすい場所に設置)
 - 点字(手摺点字・縦通路手摺・座席点字)

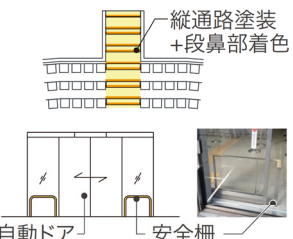
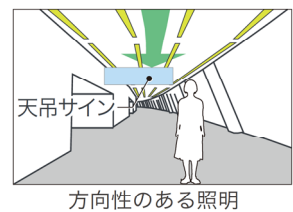


2 アシスティングリスニングシステムの採用

- 3階大型映像操作室に近接してイベント時のミニFM ※導入用のラジオブースを計画することで、ラジオによる実況サポートサービスを受けられる計画とします。
※ミニFM:微弱電波でFM放送の周波数帯を用いた無線局。導入時には専門業者がアンテナ設置等設置を行う。(別途)

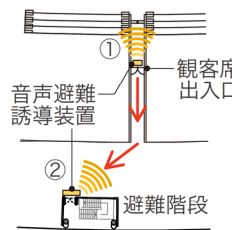
3 安全な歩行空間の形成

- 方向性のある照明計画を行うことによって、弱視の方が進行方向を認識しやすい計画とします。
- 経路を視認しやすいよう、観客席の縦通路に着色を施します。さらに、段鼻部は別の色で着色することにより踏み外し・躓きを防止します。
- 壁面に極力突起物を設けない計画とすることで、安全な歩行空間を形成します。
- ガラス部には衝突防止サインを計画することで、弱視の方を含めて衝突による怪我を防止します。
- 自動ドアに安全柵を設置することで、巻き込み事故を防止します。



4 災害音声誘導による安全性の確保

- ①座席から観客席出入口への誘導、②観客席出入口から避難階段への誘導と、避難方向を音声で示す避難誘導灯の配置を行うことで、安全な避難環境を形成します。



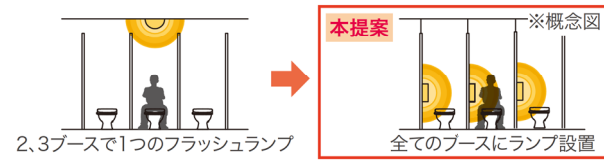
4 聴覚障がい者への配慮 情報の視覚化を徹底しアクセス性を向上します

1 良好な案内環境の形成によるアクセスサポート

- 総合案内所及び各階案内カウンターに筆談器を設置することにより、手話ができない方でも、案内がどこでも受けられる計画とします。(基本図面P04~06参照)
- 2 集団補聴設備の分散配置による観戦サポート(基本図面P12参照)
 - 観客席にバランス良く400席計画します。また、磁器ループ範囲に車いす席も含めることで、車いす使用の聴覚障がい者も補聴サービスが受けられるよう計画します。
 - 段床下の一部に予め磁器ループを通す空配管を整備することにより、将来増設に対応できる計画とします。
 - コンコースや観客席縦通路から見やすい位置に補聴設備対応席のサイン表記を行うとともに、対象座席に着色を施すことによって、席に円滑に到達できる計画とします。

3 災害時における視覚警告による避難サポート

- 各トイレ、休憩室、授乳室にフラッシュランプを設置します。さらに、ブース全てに設置を行うことにより、最大限の安全を確保します。
- 大型映像装置に警告表示を行います。



5 知的・精神・発達障がい者等への配慮 同伴者と共に安全・快適に利用できる環境を実現します

1 異性同伴トイレの計画

- 各階に個室トイレ(付添トイレ、車いす使用者用トイレ)を設置することで、異性同伴が可能な計画とします。(基本図面P12参照)

2 専用休憩室内の仕上材の選定及び防音仕様の採用

- 柔らかい壁材を選定することにより、自傷行為による怪我を防止します。
- ①防音仕様、②横たわれる床材選定、③落ち着ける調光設備を計画することで、リラックスし、落ち着かせることができる部屋(スヌーズルーム等)として機能します。

6 子供連れ利用者への配慮 家族で安心して快適に利用できる環境を実現します

- 観客席に近接した位置にベビーカー置場を計画します。また、ベビーカー置場にチェーンロック等の防犯対策を行うことで、盗難防止を図ります。
- キッズルーム・託児室は1階外周部に配置することで、災害時すぐに避難できる安全な計画とします。
- 吹抜部やコンコース外周部手摺を縦横手摺で計画することで、幼児のフェンス乗り越えによる転落事故を防ぎます。
- 授乳室はトイレとは別に独立して各層バランス良く計画します。授乳ブースは2ブース併設を基本とし、授乳室内の混雑を解消します。
- 階段内の手摺については2段手摺とすることで、幼児が安全に移動できる計画とします。

7 高齢者への配慮 高齢者等への身体的負担を最小限に抑える細やかな配慮をします

1 各層エレベーター・エスカレーターによるアクセスが可能な動線計画

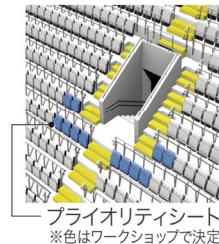
- エレベーターは1階から5階まで、エスカレーターは1階から4階まで着床可能な計画とし、移動の負担を軽減します。

2 足腰に負担をかけない施設設備の充実

- 全ての観客席縦通路に手摺を設置します。
- 全てのトイレブース内にL型手摺を設置します。
- 外構には50m以内ごとにベンチを設置します。
- エスカレーターは水平3枚ステップ、傾斜角30°、速度調整器付のものを採用します。
- 2・3・4階コンコース、5階「空の杜」に休憩ベンチを設置できるスペースを確保します。(基本図面P06参照)

3 移動が少なく安全で使いやすいプライオリティシートを設置

- 上がり下がり少ない観客席出入口付近に高齢者を含む歩行や立ち座りがしづらい人が優先されるプライオリティシート(座席を着色し優先エリアを明確)を設置することで、日常的な足腰への負担を軽減し、かつ災害時の安全な避難が可能になります。



8 外国人利用者への配慮 大会時「おもてなし」のユニバーサルデザインを行います

1 世界標準のピクトグラムと多言語表記

- 案内サインは世界各国共通のピクトグラムを採用します。ピクトグラムで表現できない箇所については、多言語表記を行います。



2 多宗教の受け入れへの配慮

- 休憩室の出入口付近に将来手・足洗いが可能な給排水計画とし、将来様々な宗教に対応できる計画とします。
- B2階フラッシュインタビューゾーンに隣接して礼拝室にも利用可能な控室を計画することで、競技者においても多宗教に対応できる計画とします。

9 サイン計画 遠くからでも分かりやすいサイン計画とします

1 様々な人に分かりやすいサイン計画の考え方

- サイン設定対象
 - 主要な動線を形成する結節点にサインを設置します。
- 文字サイズ・内容設定
 - 20m前後離れた場所からも適切に視認できる文字サイズを設定します。
 - 室内表示の文字はルビ付とします。
- 表示高さの設定
 - 持ち出しサインの高さは通行の支障にならない位置(下端高さ=2.1m以上)に設置します。

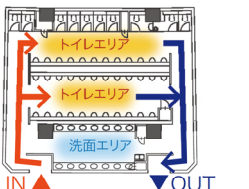
色彩・明度差の設定

- 日本には色覚障がい者が男性20人に1人、女性200人に1人の割合でいることから、案内サインに記号を使う等、色彩だけに頼らない計画とします。
- 色覚シミュレーターを用いて、様々な人にとって認識しやすい色彩計画とします。
- 視認性を上げるため明度スケール5段階以上の差を設定します。
- エレベーターボタンは周辺壁とコントラストをつけた色を採用することで弱視の方にも見やすい計画とします。

10 トイレ計画 様々な人が快適に利用できるトイレ計画とします

1 トイレの動線計画

- トイレは観客の流動を円滑にするため、出入口を別々に計画し、行き止まりをつくらぬ計画とします。
- 洗面エリアとトイレエリアを明確に分けることで、洗面利用だけでも可能な計画とします。



2 各利用者へのきめ細やかな配慮(基本図面P12参照)

- 車いす席から近い位置に車いす使用者用トイレを計画します。2室以上併設されるトイレは左右勝手の異なるトイレとし、利き手を選ばない計画とします。また、全ての車いす使用者用トイレは男女トイレとは独立した位置に配置し、男女共用トイレとします。
- 多目的トイレだと親子利用者や車いす使用者などの利用が集中してしまうことから、一般トイレや付添トイレ内へ一部機能(ベビーチェア、おむつ交換台)を分散させることで、車いす使用者用トイレへの利用集中を回避する計画とします。
- 高齢者利用を想定し、全ブース内L型手摺、手摺付小便器、手摺付洗面カウンターを設置します。
- 視覚障がい者利用を想定し、付添トイレ内、車いす使用者用トイレ内、入口から近い一般トイレ内ブース(2~3ブース)にJIS S0026型を採用します。また介助犬トイレ内には、人用便座も設置することで、人と犬が一度に用を足すことが可能となり時間をかけずに用を済ませられるようにします。
- 親子利用を想定し、一般トイレ入口から見えやすい位置に親子利用対応ブース(ベビーカー乗り入れ折戸対応、ベビーチェア、小児用便座)、出入口付近にベビーベッドを計画します。
- 上記親子利用対応ブースは車いす使用者用簡易便房(150cmx150cm)としても併用可能です。
- 託児室・キッズスペース内に乳幼児用トイレを計画します。
- 小児利用を想定し、全ての小便器を低リップ型、一部の洗面カウンターをローカウンターとします。
- オストメイト利用を想定し、入口から見えやすい位置にオストメイト対応ブース(オストメイト流し、フィッティングボード)を計画します。
- 待機列から空ブースを確認できるようフラッグサインを設置します。
- VIP、VVIP、選用手用トイレ、付添トイレ、全ての車いす使用者用トイレに温水洗浄便座(便座ヒーター付)を計画します。
- 地下1階一般トイレ大便ブースエリアに可動間仕切を設置し、またトイレの表示サインを付け替えてできる仕様とすることでイベント毎の男女比変更に対応できる計画とします。(基本図面P12参照)



11 各種協議への取り組み 世界最高のスタジアムをみんなで作ります

1 フェーズ毎で意見を集約・昇華させるスパイラルアップ型のワークショップ

- 基本・実施設計時は計画内容や仕様を図面やVR(バーチャルリアリティ)での確認・協議を中心としたデスク型ワークショップを、施工時においてはモックアップ検証やサンプル確認などを中心としたフィールド型ワークショップを開催します。

